学校における防災福祉教育の取り組みについて

葛飾区立四ツ木中学校での取り組み報告

福祉教育推進協力校
四ツ木中学校 と一緒に
“災害と福祉教育” に取り組みました！

もしも災害が起きたら・・・
・自分の命を守るため　・身近な人を守るため
・周りのだれかを支えるため
中学校の生徒たちには、どのようなことができるでしょうか？

共生社会について勉強中

聞こえないとは？

“助けられる”立場から “助ける(支える)”立場へ

四ツ木中学校と連携して、２年生を対象に「災害と福祉」というテーマで講座(全５回)を行いました。

障がいのある方や支援者のDMAT(災害派遣医療チーム)の方から「災害時の様子」「困りごと」「避難所での不便さ」などの体験談を聞き、実際に聴覚・視覚・身体障害に関する体験を行いました。

学習発表会では、「困りごと」を「我がこと」としてとらえ、生徒一人ひとりの意識の変化が見られました。

車いす利用者からの話

手話と身振りで伝えよう

グラウンドで車いすの自走体験

災害時には
車いすを持ち上げることも

白熱する避難所運営ゲーム

丁寧なガイドヘルプ

兼子校長先生

四ツ木中学校の生徒たちは今回の取組を通して、共助に対する意識が高まり、自分たちの力は、人のため、地域のために大いに貢献できるということが分かりました。

障がいのある方々のお話をうかがい、困り感を知り、自ら経験し体験する機会はどれも貴重なものでした。

生徒たちとともに、様々な視点から「災害と福祉」について更に考えていきたいと思います。

教えていないことも
自ら調べて資料に反映

生徒

障がい者の方も私たちと同じで障がいをもっていても、それを差別するのではなく、個性として受け取り、平等に接することがとても大切なんだなと改めて実感しました。

また、災害時などの緊急時に助け合う心が大切なんだと思いました。その心が障がい者の方にとって安心することだということをしっかりと認識し、今後の生活に活かしていきたいです。

生徒作成学習発表シート▶

社会福祉協議会

“今の自分”にできることを学び、“将来の自分”にできることを考える機会を、区内の小中学校・高校と連携しながら“福祉教育の学びの場”を設けていきたいと考えています。

ボランティア・地域貢献活動センター
☎　03-5698-2511

出典：葛飾社協だより令和7(2025)年3月5日号№221